

# 「技術者倫理教育の現状と人材育成について」

主催：中国・四国工学教育協会産業教育部会

共催：電気学会中国支部

後援：中国・四国工学教育協会大学教育部会，高専教育部会

日時：平成21年1月22日（木）13：10～17：10

場所：〒730-8701 広島市中区小町4 - 33

中国電力(株)1号館2F大会議場（定員200名） 参加費無料

開催趣旨：

近年、「企業倫理」、「技術者倫理」に係わる社会的問題が頻発し、企業の社会的責任への対応のあり方および技術者としての倫理の確立が厳しく問われている。こうした情勢を踏まえ、今後とも技術系人材の育成を進めて行かなければならないわが国において、これをどのように受け止め・取組んでいくべきか、大学・高専等の高等教育機関と企業側がお互いの取組みの現状を知り、目指す人材像や人材育成のあり方等について、参加者の皆さんとともに幅広く議論を交わし考えて行きたい。

## プログラム

1. 開会挨拶 : 13:10～13:20

2. 講演 : 13:20～14:50

- ・金城 徳幸氏（日立化成工業(株)CSR室，東京工業大学 特任教授） 60分  
『技術者倫理と企業の社会的責任（CSR）について』
- ・石原 崇宏氏（中国電力株式会社コンプライアンス推進部門 部長） 30分  
『コンプライアンス推進に向けた取組みについて』

（休憩 15分）

3. パネルディスカッション : 15:05～17:00

『技術者倫理教育の現状と人材育成について』

コーディネーター：

- ・島本 進氏（成蹊大学理工学部 講師，電気学会倫理委員会 特別委員）

パネリスト：

- ・金城 徳幸氏（日立化成工業(株)CSR室，東京工業大学 特任教授）
- ・日野 隆太郎氏（広島大学大学院工学研究科 准教授）
- ・塩田 祐久氏（津山工業高等専門学校機械工学科 准教授）

パネルディスカッションの冒頭で，コーディネーターおよび各パネリスト（除く講演者）から，テーマに関する発表（10～15分程度）をして頂いた後，討議に入る。

4. 閉会挨拶 : 17:00～17:10

5. 懇親会 : 18:00～19:30



## 講演概要

### 『技術者倫理と企業の社会的責任（CSR）について』

金城 徳幸氏（日立化成工業㈱CSR室，東京工業大学 特任教授）

（ご経歴）

- ・元㈱日立製作所日立研究所部長，日立化成工業㈱筑波開発研究所長  
（主に化学分野の研究業務に従事された）
- ・元日立化成工業㈱CSR室長  
（日立製作所を含めた日立グループでは，先立ってCSR室の立上げ（H16.4）に従事され，初代CSR室長を務められた。現在，日立化成工業㈱CSR室員）
- ・現在東京工業大学の国際高分子基礎研究センターに在籍され，化学の研究はもとより，電気電子工学科および有機材料工学科で「技術者倫理」の講義を担当されている。
- ・「技術者倫理」の講義では，昨今社会の不祥事を過去の歴史と交えて伝えられているほか，ご自身の企業時代のご経験も踏まえ，「企業と倫理」という視点でも伝えられている。

（講演概要）

- ・「技術者倫理と企業の社会的責任（CSR）について」というテーマで，大学で伝えられている内容に，ご自身の企業での多様なご経験を交えて紹介いただくとともに，「技術者に求められる倫理（責任）とは？」，「企業に求められる倫理（責任）とは？」，「求められている倫理（責任）に向けて，どう取り組まなければいけないか？」について講演いただく。

### 『コンプライアンス推進に向けた取組みについて』

石原 崇宏氏（中国電力株式会社コンプライアンス推進部門 部長）

（講演概要）

- ・企業で取り組まれているCSR活動，コンプライアンス推進活動を，「どのような理念のもとに」，「具体的にどう実践に移しているか」について，成果および今後の課題も交えて講演いただく。

## パネルディスカッション概要

### 『技術者倫理教育の現状と人材育成について』

コーディネーター 島本 進氏（成蹊大学理工学部 講師，電気学会倫理委員会 特別委員）

（ご経歴）

- ・元日本原子力研究所 核融合部長，那珂研究所長  
（数々の原子力に関する国際協力作業をご担当）
- ・東北大学教授を経て，現在は成蹊大学理工学部で「技術者倫理」の講義を担当されるとともに，電気学会倫理委員会の特別委員として，技術者倫理・企業倫理の普及に広く活動されている。また，JABEEの認定審査委員としても，技術者教育の向上のために活躍されている。
- ・技術者倫理に関する著書：「工学／技術者の倫理」（産業図書出版）

（パネルディスカッション概要）

- ・企業の社会的責任への対応のあり方および技術者としての倫理の確立が厳しく問われている情勢を踏まえ，これをどのように受け止め・取組んでいくべきか，大学・高専等の高等教育機関と企業側がお互いの取組みの現状を知り，目指す人材像や人材育成のあり方等について，参加者の皆さんとともに幅広く議論を交わす。